

Petit Petit Petit

Bunkamura
K-BALLET
Opto

2022.09.30. Fri — 10.01. Sat

KAAT
KAWASAKI ARTS THEATRE

まだ知らない K-BALLET、^{Opto}誕生。
"プティ・コレクション"

待望の K-BALLET Opto、Bunkamura とのコラボレーションで遂に始動!
古典バレエを極めた K-BALLET COMPANY の新しい試み。
それはダンスの深層を探ること。

熊川哲也 K-BALLET の「新たな光 (=Opto)」に立ち会って欲しい。

Petite Ceremonie (プティ・セレモニー) “小さな儀式” (アジア初演)



Photo: Rado Baccari

Medhi Walerski メディ・ワレルスキー 振付

現在、バレエ・ブリティッシュ・コロムビア(カナダ)の芸術監督を務めるメディ・ワレルスキー。パリ・オペラ座バレエでダンサーとしてのキャリアをスタートし、その後フランス国立ラン歌劇場バレエを経て NDT(ネザラン・ダンス・シアター)に10年以上在籍した。振付家としても NDT をはじめとする欧米の数々のカンパニーに作品を提供し、「キリアンの正統的後継者」との呼び声も高く、次期 NDT 芸術監督候補と言われている。今回の上演作品『Petite Ceremonie』は、2011年に発表した彼の代表作。15人の男女が妖艶なフォーマルウェアに身を包み乱舞する姿は、まさに「踊り」が神への祈りであった古来の土着の儀式(Ceremonie)のエクスタシーを感じさせる。Petite (プティ)のかわいいペールに潮む官能をぜひご期待あれ。



今回上演する3作品は、すべてタイトルに「プティ」= Petit (フランス語で小さい、あどけないという意味)が付されています。日本ではかつて「あどけない、かわい」を意味する言葉として「いとつくし」「うつくし(美しい)」を使用していました。単純にプティ=かわいだけでなく、かわいさが秘めつつ「美しさ」を感じ取っていただきたいという思いを込めています。



飯島望未



堀内純平



日高世美



山本雅也

Petite Maison (プティ・メゾン) “小さな家” (世界初演)



Photo: Ryu Endo

Yuki Mori 森優貴 振付

森優貴は、1998年から2001年までニュルンベルク・バレエ(ドイツ)に在籍したのち、シュテファン・ス率いるトス・タンツカンパニー(ドイツ)に10年以上在籍した。2012年にはレーゲンスブルク歌劇場ダンスカンパニー(ドイツ)の芸術監督に就任。欧州における日本人初の芸術監督となる。現在日本に拠点を移し、多くの振付作品を発表している。本作品では、ラフマニノフ「バガニニの主題による狂詩曲」のノスタルジックで甘美、そして遠い故郷を懐かしむような旋律にあわせ、次々に溢れ出す詩的イメージとユーロークでウィットに富んだ振付に着目して欲しい。異才が調理するラフマニノフに乞うご期待。



小林美奈

石橋貴也

成田紗弥

杉野慧

Petit Barroco (プティ・バロッコ) “小さな真珠(ゆがんだ真珠)” (世界初演)



Photo: Jero-Jan Bos

Rei Watanabe 渡辺レイ 振付

K-BALLET COMPANY、K-BALLET Opto 舞踊監督の渡辺レイ。山本禮子バレエ団を経て、名匠イリ・キリアン率いる NDT に移籍し、名だたる振付家の主要な役を踊ってきた。K-BALLET Opto では自らの経験を後進に伝えるべく中心的な役割を担っている。本作品のテーマは「バロックとジグナー」。バロックとは、ポルトガル語に由来し「ゆがんだ真珠」を意味する。それはルネサンスの均整の取れた美への、人間の情念の反抗である。今回渡辺は、「バロック=ゆがんだ真珠」をモチーフに「女性の解放された自己表現」を重ねる。男性に理想化された女性像から解放された自らのかわいさ、そして美しさとは? パッと同時代の作家ドメニコ・スカルラティの音楽をベースに奇抜な現代音楽と融合した『Petit Barroco (プティ・バロッコ)』をお見逃しなく。

K-BALLET COMPANY を代表する

ダンサーたちが出演

K-BALLET Opto は舞踊監督渡辺レイの指揮のもと、K-BALLET ダンサーを基盤に、最高峰の振付家によるオリジナル作品や、他ジャンルとのコラボレーションなど、ダンスの魅力を多角的に捉えた作品で、ダンス界に新たな光 (=Opto) を生み出し、より多くの方々に鮮やかなライブ体験をしていただく機会を提供します。K-BALLET ダンサー達の新たな挑戦と、そこから垣間見える各々の個性をお楽しみください。

公演日程 ▶ 9月30日(金) 12:30開演 | 17:30開演
10月1日(土) 12:30開演 | 17:30開演

料金 ▶ S席9,000円 A席7,500円 B席3,000円
(税込) (イ・ス付立席券)

📺 Bunkamura 先行発売
5月31日(火)10:00~6月24日(金)23:59
一般発売
6月25日(土)10:00~

Bunkamura オンラインチケット MY Bunkamura ▶ <https://mybun.jp/k-opto> (登録・システム利用料無料)
チケットセンター ▶ 03-3477-9999 (オペレーター対応 | 10:00~17:00) 産直選択可
チケットカウンター ▶ Bunkamura 1F (10:00~18:00)

チケットぴあ | イープラス | ローソンチケット | チケットかながわ

主催: Bunkamura K-BALLET
写真: Michael Slobodian

Bunkamuraを支えるオフィシャルサプライヤー

OMRON 信越産業 KIRIN 大和証券グループ 東急グループ

KAAT 神奈川芸術劇場

〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町281
TEL.045-633-6500(代) FAX.045-681-1691
<https://www.kaat.jp>

- みなとみらい線: 渡辺駅から最寄り駅まで35分 | 観劇券から6分 | 日本大通り駅から徒歩約5分、元町・中華街駅から徒歩約5分。
- JR横浜線: 磯之内駅から徒歩14分。
- 市営地下鉄: 磯之内駅から徒歩14分。
- 市営バス: 芸術劇場 - NHK前下り。
- 神奈川県道: 神奈川県道(05号)をご利用下さい。

指定管理者: (公財)神奈川芸術劇場

会場

Bunkamura
K-BALLET
Opto

K-BALLET
Bunkamura



オプト プティコレクション 検索

